指定管理業務点検・評価シート（令和6年度業務）

令和7年7月24日

施設名	とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館)	所在地	鳥取市尚徳町101-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

1 施設の概要

設置目的	県民の文化振興を図るため
設置年月日	平成5年10月1日
施設内容	○敷地面積：32,056.84㎡ ○建物面積：19,522.48㎡ ○施設内容：梨花ホール（最大2,000席）、小ホール（最大500席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1～第4練習室、イベントホール（展示室）、第1～第8会議室、会議準備室、フリースペース
利用料金	
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎週月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤県民文化会館を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥県内全域を対象とする文化芸術の振興に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

(令和7年3月1日現在)

管理体制	正職員：27人、非常勤職員：2人、臨時的任用職員：2人〔計31人〕
	<p>館長（正職員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> — 総務部〔事務・施設利用〕 (正職員6、非常勤2、臨職2) — 企画制作部〔文化事業実施〕 (正職員11) — 技術管理部〔舞台技術・施設管理〕 (正職員9)

4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6年度		8,034	5,437	6,534	18,481	19,065	20,807	27,115	22,839	17,839	14,249	7,648	14,409
5年度		17,155	13,627	14,734	18,874	16,741	18,640	16,675	24,590	13,554	10,740	10,075	21,534	196,939
増減		△9,121	△8,190	△8,200	△393	2,324	2,167	10,440	△1,751	4,285	3,509	△2,427	△7,125	△14,482

利用料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6年度		14,503	4,078	3,440	5,295	5,264	2,706	7,923	4,622	3,285	3,096	1,442	2,397
5年度		21,478	4,369	3,318	3,831	5,456	3,833	4,938	4,910	2,859	3,052	2,228	3,848	64,120
増減		△6,975	△291	122	1,464	△192	△1,127	2,985	△288	426	44	△786	△1,451	△6,069

5 収支の状況

区 分		6 年度	5 年度	増 減	
収入	事業収入	利用料金収入	58,052	64,120	△ 6,068
		チケット・参加料収入	13,969	6,065	7,904
		小 計	72,021	70,185	1,836
	事業外収入	県委託料	312,058	280,138	31,920
		手数料ほか収入	35,970	10,523	25,447
		小 計	348,028	290,661	57,367
計		420,049	360,846	59,203	
支出	人 件 費		147,795	128,707	19,088
	管理運営費		200,672	189,508	11,164
	事 業 費		71,582	18,708	52,874
	計		420,049	336,923	83,126
収 支 差 額		0	23,923		

6 労働条件等

確認項目		状況				備考
		常勤正職員	非常勤職員 (無期労働契 約)	非常勤職員 (事務・技 術)	臨時的任用職 員	
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	・職員就業規則 ・労働条件通知書	・非常勤職員就業規則 ・労働条件通知書		左記に準じる	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	—	※常時10人以上の労働者を起床する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	・時間外労働・休日労働に関する協定書				※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	8時間				※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	勤怠管理システム				※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	<ul style="list-style-type: none"> 概ね4週間当たり8日間の週休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日数（土曜日と重複する日を除く） 年末年始（12/29～1/3） 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 有給：病気休暇、特別休暇、子の看護休暇 無給：育児・介護休暇、海外随伴休暇 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 有給：特別休暇、子の看護休暇 無給：育児・介護休暇 	左記に準じる	※幅がある場合は上限、下限を記入
給与	給与金額	290千円/月	213千円/月	—	147千円/月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	—	適	※適否を記入
	処遇改善計画との比較	166.7%	78.6%	—	-257.9%	※達成率を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	—	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回				
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：舞台技術室長より選任			※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課担当職員より選任			※業種・規模の要件あり

(参考)

- 労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法（昭和22年法律第49号）に基づくもの）
 - ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
 - ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
 - ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
 - ・1週間単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
 - ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「36協定」）
 - ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要）
 - ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
		3,001人以上（6人選任）
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区分	取組み内容
利用促進	<p>[利用者の利便性の向上]</p> <p>○施設の空き状況、各種申請書、駐車場の満車予想など利用者が求める情報を素早く見つけられるよう導線を設計し、機能的かつスマートなホームページにリニューアルを行った。</p> <p>[潜在的利用者へのアプローチ]</p> <p>○施設を利用したことがない方へ効果的にアプローチを行うため、施設紹介動画や利用の様子をSNSで積極的に発信した。</p> <p>○県内外に向けて、更なる施設の利用促進、公演・事業誘致を図るために、施設の特徴を広くPRできる魅力的かつ効果的な施設パンフレットを制作した。</p> <p>[申込手続きの負担軽減]</p> <p>○申込手続きを大幅に簡略化したとっとり施設予約サービスのオンライン申込について、利用内容が簡易である練習室利用の方へ向け、登録促進やオンライン申込への移行案内を積極的に行った。</p> <p>[利用実現へ向けたサポート]</p> <p>○イベント開催計画について、円滑に催事を開催できるよう施設の設備・機構を熟知した職員が助言、提案など積極的なサポートを行った。</p> <p>[施設設備の整備]</p> <p>○昨年度に引き続き、イベントホール及びリハーサル室の照明機器の更新及び利用者の安全に配慮した照明スイッチの位置変更を行った。</p>
施設周辺の活性化	<p>○施設の特性を活かしながら、誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくため、小学生のいる家族を対象に「体験する」「学ぶ」「観る・聴く」を方針とした3事業を実施した。</p> <p>「アートSQUARE夢空間」では、翌月に本番を迎えるプロデュース事業 新作バレエ「赤毛のアン」に関連付け、物語の紹介とバレエの表現方法を分かりやすく解説することと併せて、終演後には希望者へ弦楽器、バレエ、声楽の体験を実施した。「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」は、県民文化会館が保有している2種のコンサートグランドピアノを活用しそれぞれの特色や魅力を感じる参加・体験型事業を実施し、ピアニストとピアノ技術者それぞれの視点からの説明に加えプロピアニストの演奏で聴き比べを行った。「とりぎん文化会館 ホール探検ツアー」は、普段見ることや立ち入ることの出来ない劇場の裏側の紹介や、実演芸術を支える実際の演出装置・機器などの操作体験を通じ、会館や舞台芸術を下支えする裏方スタッフの役割などについて広く紹介した。各企画の実施により、参加者の好奇心をより掻き立て、文化芸術に親しみと関心を持つ環境をつくとともに、新たな鑑賞者・実践者の開発と増大に努めた。</p> <p>○レストラン管理運営事業者や図書館と連携し、周辺の賑わいづくりについて協議を重ね、レストラン施設内での絵本貸出サービスやコンサートでの出前図書館開催など施設の賑わいの創出に努めた。さらに「アートSQUARE夢空間」では、レストラン協力のもと、館内でホットドリンク付きのコンサートを実施した。通常のホールでのコンサートとは異なり、気軽に参加できる鑑賞機会を提供することで、新たな鑑賞者開発に努めた。</p>
地域懇談会の開催	<p>○地域で実施する文化芸術事業及び施設の運営・事業について意見を聴き、企画・運営に的確に活かすために地域懇談会を年2回開催した。（西部地区：令和6年度第2回目は資料送付による意見聴取）</p>
市・教育機関との連携協力	<p>○「舞台技術支援」では鳥取大学地域学部と会館の連携協力に関する覚書に基づいた大学生の授業として、また大学の演劇サークルや東部地区の高校演劇部に対して舞台技術研修会及び施設見学会を開催し、舞台技術の向上や会館にも関心を持ってもらえるよう努めた。</p> <p>○「実演芸術市町村連携公演事業」では、市町村と協働して鑑賞者の掘り起こしを行うとともに、地域の文化芸術の発展と地域課題の解決と活性化を図るため、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供した。新規開催市町村の開拓にも努め、令和6年度は岩美町、八頭町、琴浦町、江府町、日南町と協働して実演芸術事業を実施した。そのうち、琴浦町、日南町の2町とは文化芸術事業を推進していくにあたっての連携協力に関する包括協定を締結した。今後も引き続き連携強化を図るとともに、実演芸術体験機会の創出に努める。</p>

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<p>○施設内にメッセージBOXを設置</p> <p>○施設利用報告書に利用者の意見を求める欄を追加</p> <p>○電話、ホームページ、Eメールによる意見等の受付</p> <p>○地域懇談会の設置・開催</p> <p>○外部評価委員からの意見徴収</p> <p>○県への「県民の声」による意見受付</p>
------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
満車で駐車場に入らず困った来場者がいた。	利用者による駐車場案内を徹底した。また、ホームページの駐車場混雑状況を分かりやすくした。
室内に記載している避難経路図が小さい。	避難経路図も含め室内の貼り紙を見やすいものへ更新した。
リハーサル室の扉から異音がする。	点検し復旧した。
会議室のホワイトボードが消えづらい。	定期点検を実施し、表面のコーティングを行った。

ピアノの鍵盤が上がらなくなった。	保守業者に依頼し原状復帰した。
長机複数台の天板に穴が空いている。	危険がないよう修繕した。

利用者からの積極的な評価
<p>(職員の対応) ※利用報告書アンケート結果「とても満足」または「満足」 事務職員99.8%、舞台職員100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な急な要望に丁寧に対応していただきました。 ○利用前に備品が準備されていた。 ○あいさつや言葉かけがとても丁寧で気持ち良い。 ○事前の打合せから丁寧に対応いただいた。 ○会場設営について助言いただいた。 ○機材の接続で大変助けていただいた。 ○電話での問い合わせなどいねいに対応していただきました。 ○掃除もいつもきちんとされていて、気持ちよくいられます。ありがとうございます。 <p>(施設・設備) ※利用報告書アンケート結果「とても満足」または「満足」 99.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設備が充実しており使いやすい。 ○1年前から利用申込ができる。 ○必要な設備が整っており使いやすい。 ○とっとり施設予約サービス、メール等で申し込みが可能。 ○リーズナブルな値段できれいな施設を使用させていただきました。 ○とても綺麗にされていて窓外の緑も美しかったです。

9 指定管理者による自己点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☑
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☑

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕

【利用者目線の施設づくりと安心・安全・快適な施設管理】

○施設の運営にあたっては、利用者等の安全第一、公平公正を基本とし、利用者目線を心掛けたサービスの向上に努めた。
 ○職員による施設管理点検作業及びヒヤリハット指摘事項を定期的によりリストアップするとともに対策を行い、安心・安全な施設づくりに努めた。
 ○県内3地域に文化芸術関係者等37名の委員から構成する地域懇談会の開催により、施設の運営並びに地域の文化芸術の振興を担うための財団のあり方等について意見交換を行い、財団実施事業の企画運営等に活かした。
 ○鳥取大学地域学部の学生の授業、演劇サークルや東部地区の高校演劇部に対して舞台技術研修会を開催するなど、舞台技術を理解していただくことで舞台技術の普及と活性化を図り、併せて会館に関心を持っていただくよう努めた。

【独自財源確保と地域貢献・寄付文化の醸成】

○令和3年度に設置した「パートナー企業制度」により、県内企業・団体等を訪問し、文化芸術をツールとした社会貢献への取組に繋げるとともに、自己資金の確保と寄付文化の醸成を目指した。
 ○県の助成金・民間助成金を獲得し、事業運営においては、内容の充実を図りながら高質な実演芸術の鑑賞等の機会を広く県民に提供し、鑑賞者や活動者の拡大へと繋げた。特に、文化芸術振興費補助金「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」を活用し、18歳以下の子供を公演に招待し、若年層の鑑賞機会を大幅に拡大した。

【効率的かつ効果的な施設運営】

○施設設備を適法に維持管理するため、必要に応じ専門的知識・技能を有する専門業者へ委託した。また、各設備等の保守点検等の業務委託は、業務一括複数年契約、倉吉未来中心との2館一括複数年契約を導入しており、定期的な2館の施設管理に関する情報共有を行うことで将来発生する不具合の予測や対策を行うことに努め、効率的な運営を行った。
 ○施設設備の経年劣化が顕著となってきており、故障の発生頻度が高くなったことに加え、既存機器部品の生産終了等により修理できない箇所が生じていることから、予防保全に重点を置き、中長期整備計画に沿って、優先度を決め県への改修等の要望、或いは会館で修繕をするなどの環境整備に取り組んだ。
 ○人が触れる機会が多いドアノブ、手摺、エレベーター釦等は、感染症拡大防止のためアルコール消毒を行い、また、清掃業務性能発注の考えに基づき清掃作業の配分を利用状況に応じて柔軟に変更対応し、安心・安全に利用できるよう、引き続き感染症拡大防止対策の徹底に努めた。

○休館日を活用し、突発的に発生した不具合を先送りしないよう、安全面と経済面から判断して効率的な修繕（直営又は2次委託）を行うことにより、利用者への安全・安心をより一層担保出来るよう取り組んだ。
 ○空調設備は、1日の催事内容を把握したうえで、きめ細やかなON/OFF、利用者への空気環境を十分維持しながら熱源余冷・余熱の活用、デマンド制御（不要機器の一時停止等）により電力量の抑制を行い、経費縮減と省エネルギー化に取り組んだ。また、熱源改修（ガス化）に伴う運営実績の記録・分析を行い、今後の運用の参考とする。
 ○梨花ホール棟において、利用状況に応じ必要箇所のみの点灯運用を行った。
 ○施設の利用がないエリアの消灯、既存照明機器のLED化により、エネルギー使用量を削減する省エネルギー対策に努めるなど、光熱水費等の固定費の節減、施設運営の効率化に積極的に取り組んだ。
 ○鳥取県版環境管理システム（TEASⅡ種）の確認審査を受け、環境改善目標の計画的な実施により環境負荷の低減に努めたほか、地域の一員として道路管理者と協力し、ボランティアロード（国道53号線歩道）の清掃等の活動に取り組んだ。

【男女共同参画等の推進】

○鳥取県の「イクボス・ファミボス宣言」を行っており、長時間労働の削減、休暇制度等の積極活用等、男女が共に働きやすい職場環境づくりと、ワーク・ライフ・バランスの意識醸成に努めた。
 ○財団評議員及び理事の男女それぞれの比率を40%以上としており、経営サイドにおける男女共同参画の推進にも引き続き努めた。

【文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業】

鳥取という地域をステージに、アウトリーチを事業の基軸として、第一線で活躍するアーティストが劇場に集い、劇場から地域へ、そして、全国へ質の高い文化芸術を創造・発信し、アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が絆を形成するための環境づくりを行った。事業実施にあたっては、目的と目標を明確化させ、段階的かつ重層的に事業を体系化（STAGE1～3）し、戦略的に実施した。

○STAGE1 出合いを生む文化芸術事業の展開

■目的

県内市町村や文化芸術団体等と連携のもと、これまであまり縁の薄かった方々にも新鮮で笑顔溢れる実演芸術を届けることを

目的とした事業を展開する。

■目標

- ・初めての实演芸術体験機会の創出を狙い、誰でもが鑑賞し、体験できる機会を設ける。
- ・若年層や家族が気軽に参加できる機会を作る。

■実施した事業とその実績

- ・市町村連携公演 5町6公演
- ・鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校） 6校6公演
- ・児童生徒を対象とした文化芸術事業 45校38公演

○STAGE 2 彩を添える文化芸術事業の展開

■目的

県内市町村や文化芸術団体等と綿密な連携のもと、心地よい文化芸術に触れることにより、ライフスタイルに彩と夢を届ける事業を展開する。

■目標

- ・県民が多彩な実演芸術に触れ、魅力ある事業を体験できる機会と環境を整える。
- ・実演芸術をより楽しみ深めるためのアウトリーチ事業を行う。
- ・将来を担う実演芸術活動者の発掘と育成を図る。

■実施した事業とその実績

- ・実演芸術市町村連携事業（再掲）
- ・プロデュース事業 鳥取チェンバーオーケストラ事業 第5回定期公演及び室内楽セミナー
- ・プロデュース事業 U-18シアタープロジェクトAct.3（8年度公演準備）
- ・プロデュース事業 新作バレエ「赤毛のアン」
- ・プロデュース事業 とっとり郷土芸能フェスティバル2025

○STAGE 3 感動を届ける文化芸術事業の展開

■目的

基幹ホールの優れた機能とこれまで培ってきた財団の専門的ネットワーク及び技術のもと、鑑賞・参加される方々に高質な実演芸術を満たすことにより大きな感動を届ける。

■目標

- ・県民を魅了する良質な舞台作品の鑑賞機会を提供する。
- ・次世代を担う若手芸術家・活動者との協働により高質な創造作品づくりを行う。
- ・将来を担う実演芸術活動者の発掘と育成を図る。

■実施した事業とその実績

- ・プロデュース公演 鳥取チェンバーオーケストラ事業（再掲）
- ・プロデュース公演 U-18シアタープロジェクトAct.3（8年度公演準備）（再掲）
- ・プロデュース事業 新作バレエ「赤毛のアン」（再掲）
- ・プロデュース事業 とっとり郷土芸能フェスティバル2025（再掲）
- ・鑑賞型事業 6公演及び関連事業1事業
- ・特別共催事業 マスコミ共催2公演、一般団体共催13公演

○鳥取県立県民文化会館の特色を活かした事業

豊かで特色のある県民文化の育成と振興に寄与する場として活用するため、図書館、公文書館等関係施設と連携した管理運営・事業を行うとともに、財団独自に各種文化芸術事業を行い、指定管理を受けている施設の賑わいの創出に努めた。

- ・地域の賑わい創出事業 4事業5公演（大雪による中止1事業1公演含む）

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕

○利用率向上について

・コロナ期を境にフリースペース及び和室である第7・8会議室の利用率低下がみられる。利用者の多くの使用目的と合致する施設となるよう利用方法の見直しや施設改修について検討していく。

○「県民に愛され、誇りとなる劇場造り」を目指す人創り

「とりぎん文化会館があってよかった」「誇りに思う」と県民に思われる劇場を目指し、実演芸術の鑑賞のみならず、参加・体験などを盛り込んだ多彩なプログラムの企画や創造的な公演の制作を行っている。これを継続的に実施するには、専門人材の育成が不可欠であることから、「（公財）鳥取県文化振興財団 財団職員の人材育成に向けた基本方針」に基づく職員研修制度により、組織的かつ体系的に職員の育成を図っている。今後も財団経営の安定化を推進しながら、中長期的な人材育成の視点に立ち、在職年数と職位に応じたキャリア開発により、職員一人ひとりが最大限に力を発揮できるような環境を整備していく。

○劇場における社会包摂について

地域の文化拠点である当館においては、劇場法によって明文化された社会参加の機会を開く場としての役割、地域コミュニティの創造と再生を通じて地域の発展を支える機能や役割も期待されている。令和6年度は鳥取県と連携し、「知的・発達障がい児（者）にむけての劇場体験プログラム」を実施し、職員の参加にあわせて県内文化施設にも案内するなどの取組を行った。令和7年度においても事業継続を予定しており、更に劇場としての社会包摂に努めていく。

10 施設所管課による業務点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	□
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	□

項 目	評 価	点 検 結 果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○施設のシステム全般について精通しており、予想される不具合についても迅速に対策を行っており、適切な保守管理が実施されている。 ○受託業者と連絡を取り合いながら適切な運用を続けている。 ○施設の老朽化により、修繕等が必要な箇所が多くなる中、定期的な点検を行い、中長期保全計画の内容に従って所管課に対し適切に施設修繕に係る予算要求の提案を行っている。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○適切に実施されている。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○利用者のニーズに沿った、丁寧な対応を行っており、利用者からの評価が高い。 ○催事等に際し、円滑な運用に向けてのアドバイスなど行い、顧客満足度の向上を図りつつ施設の安全・適切な利用を促進している。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○利用者アンケートなどを通じて、施設の利便性向上に向けて積極的に取り組んでいる。 ○施設の内装・レイアウト変更等を積極的に行い、利用者がより利用しやすいように務めている。 ○それぞれの対象ごとに訴求効果の高い事業を模索しながら事業を展開し利用促進を図っており、努力が認められる。 ○個人情報保護のため、引き続き取り組みを強化しつつ継続していくことが求められる。
[文化事業の実施状況] ○実施内容	5	○地域の賑わい創出事業 アートSQUARE夢空間スペシャル みんなのピアノ聴き弾き比べコンサート 等 ○プロデュース事業 とっとりチェンバーオーケストラ 新作バレエ「赤毛のアン」 等 ○教育普及プログラム ようこそ劇場プロジェクト ○人材育成プログラム 舞台技術研修会 ○鑑賞プログラム N響ほっとコンサートin鳥取 等 【その他】 ○公共施設関係 県東部の文化活動者・教育機関に対して県民文化会館の運営のノウハウを提供。 ○活動者関係 鳥取市内の舞台芸術活動を行う劇団員に対して舞台技術研修会を開催。 等 ○教育機関関係 大学生の授業の一環としてホール施設や舞台設備の見学、舞台技術研修会を開催。 ○上記の中で新作バレエ「赤毛のアン」については、当県ゆかりのアーティストやその道の第一人者が地元活動者と連携し、一つの品を作り上げたことは特筆に値する。人材育成の観点からも、県内の子どもたちを含めたバレエダンサーからオーディションで選別し、事業にかかわらせることによりそのインセンティブを刺激し、未来の人材の育成に寄与したといえる。鳥取県からまったくの新しい文化財産を生み出した功績は大きいと考える。
[収入支出の状況]	3	○利用料収入5,8052千円は前年度より減少(前年度:64,120千円)したが、事業計画額(57,949千円)を上回った。施設の老朽化に伴う維持修繕費や原油高騰の影響で管理運営費が増加する中で経費節減等に取組み、安定的な収支決算で事業年度を終えた。 ○燃料等高騰の中、空調設備や照明設備などで必要に応じて部分運用を行うなど、積極的に経費節減と省エネルギー化に取り組み、施設運営の効率化に努めた。

<p>〔職員の配置〕</p> <p>○適正な職員配置</p> <p>○処遇改善計画の達成状況</p>	3	○協定の内容どおり事業が実施されており、適切に配置が行われている。
<p>〔会計事務の状況〕</p> <p>○不適正事案や事故等の有無</p> <p>○業務報告書(月次)における内部検査結果</p> <p>○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など)</p> <p>○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)</p>	3	公益法人会計の適正処理に努めるとともに、健全な経営体制に向けた取組を実施した。
<p>〔関係法令の遵守状況〕</p> <p>○関係法令に係る行政指導等の有無等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 <p>○県内発注(鳥取県産業振興条例)</p>	3	○各職員の労働環境をしっかりと把握し、適切な労働環境の維持に努めている。
<p>〔県の施策への協力〕</p> <p>○障がい者就労施設への発注</p>	4	外部清掃業務の委託をはじめ、名刺印刷など、障がい者就労施設への発注を積極的に行っている。
<p style="text-align: center;">総 括</p>	3.6	第5期指定管理の初年度であり、施設運営における各種委託業務の発注については、物価が高騰するなか、柔軟に予定価格を見直すなど工夫し、適切に施設の運営を行った。施設利用に係る基本的な管理運営はもとより、積極的な文化芸術事業を展開し、文化芸術の振興拠点として施設の有効活用及び地域の文化振興に取り組んだ。

- 《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、
4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、
※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。